

めあて

明治政府の政策について (よかった点, 問題点もふくめて) 考えよう。

※2単位時間分のワークシートとなるため、めあては、1時目「明治政府についてよかった点を考えよう。」、2時目「明治政府についてよかった点, 問題点もふくめて考えよう。」となります。

政策	内容 (どのようなことをしたのか)	理由 (なんのためにしたのか)	影響	
			よかった点(例)	問題点(例)
しょくさんこうぎょう <b>殖産興業</b>	官営工場をつくったり、事業を始めたり、制度を整えたりした。	産業の強化をはかり、経済を発展させ、豊かな国にするため。	・様々な近代的な産業が盛んになった。 →条約改正へ ・現在も存在する企業を育てることになった。 ・鉄道や郵便など今につながる事業や制度ができて、生活が便利になった。など	・女性労働者問題や足尾鉍山鉍毒事件などの社会問題が発生した。 ・事故が多く、命を落とす人がいた。 ・労働者にとっては、とても過酷な仕事で、安い給料で働くことになった。など
がくせい <b>学制</b>	6才以上の男女が、小学校へ行くというきまりをつくった。	すべての子どもに教育を受けさせ、かしこい人を育てるため。	・今と変わらない数の学校ができた。 ・みんなが平等に教育を受けられるようになった。→就学率UP ・科学や文化に貢献する人を育てることができた。など	・授業料が高くて、払えない人がいた。 ・明治の初めは、無理矢理行かされて、働き手がとられてしまうことになり、行きたくなかった人がいたのではないかな。 ・学校を建てるにはお金がなかった。など
ちょうへいれい <b>徴兵令</b>	20才以上の男子は、3年間、軍隊に入らなければならないと義務付けた。	武士の代わりに訓練された近代的な軍隊をもつため。	・他国に負けない兵力をつけることができた。 →軍事力UP ・2つの戦争に勝つことができた。など	・農民の働き手がとられ、不満が出た。 ・戦争に行った人には、苦しんだ人がいた。(日本だけではなく、中国や朝鮮、ロシアの人達も含め、多くの命が失われた。) ・お金を払えば免除される人がいた。など
ちそかいせい <b>地租改正</b>	地租を定め、土地の所有者である地主に、決まった額を税金として納めさせる。	国の収入を安定させるため。	・政府の収入が安定した。 ・得た収入を殖産興業や徴兵令の資金とすることができた。など	・農民は不作になると地租(お金)が払えない。売る米がないから、江戸時代よりも生活が苦しくなった人達がいた。 ・政府だけが得をすることに、不満を持つ人がいた。など

様々な立場から考えよう。

政府 士族 農民 国民

様々な視点から考えよう。

今につながる 国際的な地位の向上

○学習のふりかえり

※振り返りのポイントとして、「論題に対する自分の考えとその理由」を示します。この記述から本時の評価を行います。

国の利益

国民の生活

※よかった点は、国家の立場に立った利益、問題点は、国民の立場に立った不利益であることに気付かせ、この2つが対立していることから、どちらを優先して考えるべきかを問い、意思決定をさせてください。児童によって考えが違ふことから、論題「明治政府は国の利益と国民の生活のどちらを優先すべきだったのだろうか。」を導き出してください。